

うめぼしのはたらき① 名前( )

「うめぼしのはたらき」を読んで、きちんと彫ったりとやわらかく彫ったりとその彫影を書こう。

「うめぼしのはたらき」を読んで、意味の分からないことは○をつけよう。(教科書)  
「うめぼし」の意味を、し書をつかって調べてみよう。ほかにも調べたい言葉があったらつけ足して調べてみよう。

|       |  |
|-------|--|
| はたらき  |  |
| 消化    |  |
| おぎなう  |  |
| うめし   |  |
| やわらかく |  |
|       |  |
|       |  |
|       |  |

うぬぼしのぼだんせ② 名前( )

うしろの文、答えの文をそれぞれながから指読しましょう。

(上へト:うしろの文は「なぜ～なの～しょう。」という文です。答えの文は、「～だからです。」という文です。)

教科書のうしろの文には青のサインの「ハ」、答えの文には赤のサインの「ハ」をひらいて上へトに書きましょう。

|       |  |
|-------|--|
| うしろの文 |  |
| 答えの文  |  |

う、「うぬぼしのぼだんせ」とはどんなもの～しょう。「中々になる文」には赤色、「それをせつめうする文」には青色でサインの「ハ」をひききましょう。

う、「中々になる文」と「それをせつめうする文」をみじかくもとめましょう。  
(上へト:三つあるよ。)

☆みじかくもとめるコウ・・・①「です。ます。」で書かれた分を「だ。～である。」に直すとらうー  
②よりかえしてらるのうちは1回にするとらうー。

|   |         |  |
|---|---------|--|
| ① | 中々になる文  |  |
|   | せつめうする文 |  |
| ② | 中々になる文  |  |
|   | せつめうする文 |  |
| ③ | 中々になる文  |  |
|   | せつめうする文 |  |

めだか①

名前( )

「めだか」を読んで、おもむき彫ったことや気づいたことなど感想を書いて。

「めだか」を読んで、意味の分からないことは○をつけよう。(教科書)  
「めだか」のことは意味をし書をつかって調べてみよう。ほかにも調べたい言葉があったらつけ足して調べてみよう。

|      |  |
|------|--|
| 水面   |  |
| 目うつり |  |
| たえる  |  |
| まみず  |  |
| 川口   |  |
| みちしな |  |
|      |  |
|      |  |
|      |  |

# うめぼしのはたらき② 名前( 答え )

この文、答えの文をさがしながら音読しましょう。

(ヒント:この文は「なぜ〜なのでしょう。」という文です。答えの文は、「だからです。」という文です。)

教科書のこの文には青のサイドライン、答えの文には赤のサイドラインをひいてプリントに書きましょう。

|      |                                                   |
|------|---------------------------------------------------|
| この文  | わたしたちは、なぜ、そんなにすばい<br>うめぼしを食 <sup>く</sup> べるのでしょう。 |
| 答えの文 | うめぼしが、わたしたちの体にとって、い<br>ろとよいはたらきをするからです。           |

「うめぼしのはたらき」とはどんなものなのでしょう。「中々となる文」には赤色、「それをせつめいする文」には青色でサイドラインをひきましょう。

「中々になる文」と「それをせつめいする文」をみじかくまとめましょう。

(ヒント:三つあるよ。)

☆みじかくまとめるコツ・・・①「です。ます。」で書かれた分を「だ。〜である。」に直すというよー。

②くりかえしていることは一回にするというよー。

|   |         |                                                                                                    |
|---|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ① | 中々になる文  | 食 <sup>く</sup> 物の消化をだすける。                                                                          |
|   | せつめいする文 | わたしたちの体は、すばいものを食 <sup>く</sup> べると、だく<br>ちんのつばを出す。つばには、食 <sup>く</sup> 物の消化をよくする<br>はたらきがある。         |
| ② | 中々になる文  | 体にえん分をおぎなう。                                                                                        |
|   | せつめいする文 | わたしたちの体は、塩分が足りなくなると、十分にはた<br>らがなくなる。めせをかくと、体から塩分が出る。うめぼ<br>しを食 <sup>く</sup> べると、体の中の塩分のほうを、正しくだもつ。 |
| ③ | 中々になる文  | 食 <sup>く</sup> 物がわるくなるのをふせぐ。                                                                       |
|   | せつめいする文 | ちいさんがうえるのをふせぐ、わたしたちの<br>おなかをまわってくれる。                                                               |

1

「かんじのなまえ」をうた  
かんじのなまえ  
かんじのなまえ

かんじ

名前

組

番

姓

1 かんじ

❖ 漢字にかなをかいて。 (~~~~~のなまえ、かんじのなまえをかいて。)

① かんじをかいて。~~~~~

② かんじをかいて。~~~~~

③ かんじをかいて。~~~~~

④ かんじをかいて。~~~~~

⑤ かんじをかいて。~~~~~

⑥ かんじをかいて。~~~~~

⑦ かんじをかいて。~~~~~

⑧ かんじをかいて。~~~~~

⑨ かんじをかいて。~~~~~

⑩ かんじをかいて。~~~~~

★ かんじ、① かんじ、② ひらがな



2

「うしろのうしろのうしろ」をうしろ  
かたはるひ  
うしろのうしろ

四上:7~31

名前

組

番

氏

1 かたはるひ

❖ 漢字をかたはるひ。 (~~~~のうしろを、かたはるひにをかたはるひ。)

① かたはるひのうしろのうしろ。

② ほんのうしろをかたはるひ。

③ かたはるひのうしろをかたはるひ。

④ からだをかたはるひ。

⑤ かたはるひをかたはるひ。

⑥ かたはるひをかたはるひ。

⑦ かたはるひをかたはるひ。

⑧ かたはるひをかたはるひ。

⑨ かたはるひをかたはるひ。

⑩ うしろのうしろをかたはるひ。

★ 組を、⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿





正しい姿勢で寝みましょう。

## ま い め 枚 目

月 日

たい めい  
題 名  
よ  
(読んだところ)

よんだかいすう

こえの大きさは

はやさ

正しく

家の人印

先生の印

○△○□ △△○○ ⑤たいへんよい ○よい △もうすこし ♪◇○□○△◇

